

# ご挨拶

今回の<sup>せいとうぶんこ</sup>西東文庫の展示にあたり、医学図書館長として一言ご挨拶申し上げます。

同文庫は、医学図書館が島根医科大学時代の1989（昭和63）年に大型コレクションとして購入したものであり、西洋から東洋を見るという視点で集めた“Japonology”の図書資料の集大成といえます。

多くは幕末から明治期に出版されたもので、内容は歴史、地理、宗教、社会制度、風俗習慣など多岐にわたり、民俗学的にも大変興味深い資料となっています。

今回の展示は、2018（平成30）年に島根大学附属図書館（松江キャンパス本館1階展示室）で開催された展示会と同様の内容を復刻したものとなります。明治時代に日本を訪れた外国人の紀行文などの中から、庶民の日々の暮らしをイラストで紹介した図書を取り上げています。とくに、明治初期の特徴的なイラストについては、パネルにまとめています。当時の日本は近代化に向けて猛進する時期でしたが、江戸時代から変わらない生活があることがよくわかります。日本人には当たり前のこととして当時の日本人が記録に残してこなかった事柄も多く記されています。また、同文庫に含まれる図書の中には、日本語に翻訳されて紹介された図書も多数あります。

この企画展示が、当時の日本に思いを馳せ、今後の日本を考えていくきっかけあるいは機会になれば望外の幸せです。

2021年11月15日

島根大学附属図書館医学図書館長  
紫藤 治